

| まちのうごき | | |
|--------------|------------|--|
| (10月1日現在) | (9月中) | |
| 世帯数 14,590世帯 | 生れた人 94人 | |
| 人口 48,965人 | 亡くなった人 18人 | |
| 男 24,321人 | 転入した人 276人 | |
| 女 24,644人 | 転出した人 234人 | |

大切にしよう、まちの文化財

—11月1日から文化財保護強調週間—

きょうから「文化財保護強調週間」がはじまります。わたくしたちのまちはそのほとんどが埋蔵文化財の包蔵地とされているほどの文化財の多いまちです。この貴重な文化遺産を守るため、市民一人ひとりが文化財を正しく理解しましょう。



木簡・木製品などが多量に出土した溝

向日市は、その三分の二を長岡京跡・古墳・弥生時代集落跡・中世城跡などの遺跡が占める埋蔵文化財の宝庫です。過去二十二年間、数多くの発掘調査が実施されてきましたが、特に長岡京跡の調査は、京都府教育委員会を中心に、八十一回におよびました。

向日市教育委員会でも文化財保護法の改正により、遺跡の範囲や該当地区での必要手続きの周知がはかれるようになり、調査が実施され、東西にわたる調査が実施されてきた。そして今年度からは、市教育委員会を中心に発掘調査を実施する

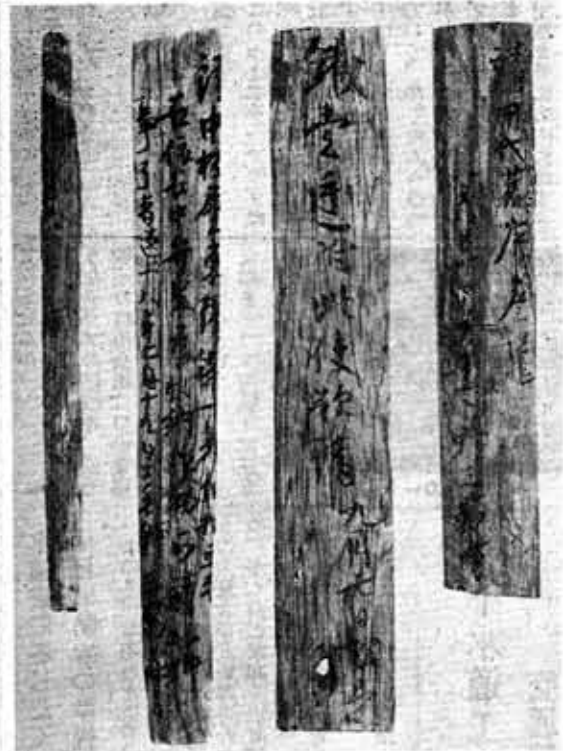
“木簡”など出土

—52年度上半期の調査—

こととなり、すでに十四品・土器・種子などが出土した。特に木簡は、二百点をこえ、長岡京跡の取掘を得ることができました。左の写真は、その一部です。木簡で最も多いのは飯

六月初一日から、鶏冠井炭(写真右)・鉄(中右)町沢ノ東の、推定冷泉小路(れいせいこうじ)の調査が実施され、東西にわたる調査が実施されてきた。そして今年度からは、市教育委員会を中心に発掘調査を実施する

仕事の合間にイタズラしたり、鳥の彫刻などがあり、当時の下級官吏の仕事ぶりをよみがえらせてくれます。その他、数千本の箸やしゃもじなど興味深いものばかりです。このように、半年間の文化財の調査は大変有意義なものでした。市教育委員会では、この成果を公開するため、左記の要領で今年度上半期の出土遺物を展示します。



木簡展

52年度上半期の調査から

- ▶とき 11月3日(祝)～6日(日)
- ▶ところ 市民会館第3会議室
- ▶展示物 木簡・木器・土器・複製模型など
- ▶催し物 スライド・ビデオ(向日市の歴史)

●文化財は大切に●

国民、所有者等の心構え ならない。

第四条 一般国民は、埋蔵文化財の発掘に関する届出及び指示の法律の目的を達成するために、第五十七条の二、土木工事その他埋蔵文化財の調査以外の目的で見つかる古墳その他埋蔵文化財を包蔵する土地として周知されている土地を発掘しようとする場合には、発掘しようとする日の六十日前までに文化庁長官に届け出なければならない(以上、文化財保護法より抜粋)



鶏冠井町沢ノ東から出土した木製品の一部

●歴史講座案内●

- 市教育委員会では、十月から、「向日市の原始時代から幕末」をテーマにした「歴史講座」を開催してまいります。第二回は、十一月三日(日)午後二時から、向日市市民会館第3会議室で開催いたします。
- 第一回 11月3日(祝) 午後6時30分～8時30分
 - 第二回 11月8日(日) 午後2時～4時
 - 第三回 11月25日(日) 午後6時30分～8時30分

“満5歳をむかえた私たちのまち”



市制5周年を迎えて
市長 民秋 徳夫

私たちのまち向日市は、昭和47年10月1日の市制施行以来、ことしでちょうど5年目を迎えることになりました。

思えばその間、向日市は、石油不足に端を発する財政危機をはじめとするいろいろな問題に遭遇し、そのたびに数多くの試練に耐えながら順調に発展し今日を迎えたことは、市民のみなさんをはじめとする関係各位のご努

力とご理解のたまものであり、深く感謝するとともに、今後の向日市のなご一層の発展を願うものであります。市制5周年を迎え、意を新たに、市民のみなさんが「やっぱり向日市に住んでよかった」と思われる、心のふれあう「ふるさとづくり」を、市民のみなさんと一体になって積極的に推進してまいりたいと思っております。今後とも市民のみなさんのご協力をお願いします。最後になりましたが、市制5周年を記念して、行事を催したく考えております。市民のみなさんの多数のご参加をお願いいたします。

◆市制5周年記念行事◆

- ▶とき 11月3日(祝) 午前10時～正午
- ▶ところ 向日市民会館ホール
- ▶内容 ◎あいさつ 市長、市議会議員
◎記念表彰 市の発展に功労のあった人を表彰
◎来賓祝辞 京都府知事、府議会議員
◎市民憲章の発表
◎市民の花・市民の木を発表
◎記念講演 菅 泰男氏(京都大学教授)
*英米文化と日本文化、

向日市まつり 5日6日両日とも先着1,500名さま(中学生以上)に記念品を進呈します。